

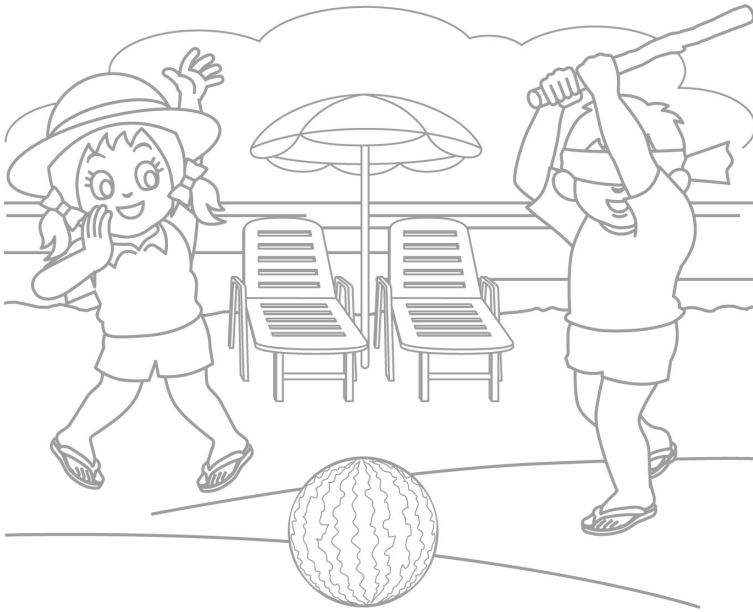
しよしや

書写のきほんを学ぼう

まな

【第17回】

かん字の組み立て方(5)内外①



書き方教室

今月のもくひょう

千葉大学教授

樋口 咲子

今月は、外がわと内がわの部分からできている文字の組み立て方のうち、「にょう」と「たれ」のつくかん字について学んでいくよ。「にょう」と「たれ」のつくかん字のとのえ方のきまりを知って、字形をととのえて書けるようにしよう。

固	間	式	近	庄
起	同	店	気	国

① かこんでいるばしよが
おなじなかまをさがそう

かこんでいるばしよが同じなかまを線(せん)でむすばう。

② 「によう」は左がわと
下がわをかこんでいるよ

これまで、右と左の部分に分けられるかん字や、上と下の部分に分けられるかん字の字形のとのえ方について学んできました。今月から、内がわと外がわの部分に分けられるかん字のとのえ方について学んでいきます。それらのかん字は「によう」「たれ」「かまえ」のなかまに分けることができます。

「によう」は、左がわと下がわをかこんでいます。「によう」のなかまのかん字をマス目の中に書いてみましょう。

処	題	近
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
進	建	起
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

書く順番はどうなっているかな？



先に書く「によう」

2 1	1 2
近	起
2 1	1 2
建	題
2 1	1 2
処	

後に書く「によう」

指導のワンポイント

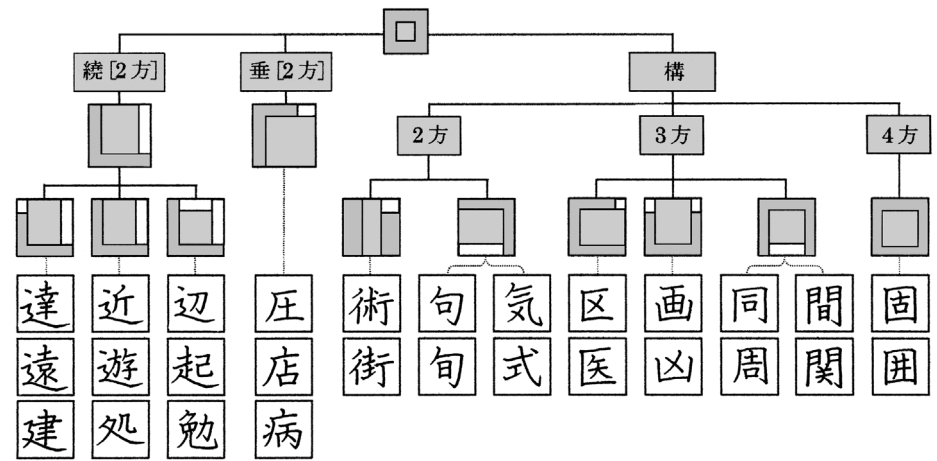
「繞」には、先に書く繞と、後に書く繞とがあります。先に書く繞は、内側に書く部分の大きさを見定めて書くため、右払いの長さの見極めが難しいところです。しんにようは、明朝体のデザインの真似をして、二画目の折れを直線に書いてしまうため注意が必要です。また、印刷文字では点が2つあるものがありますが、書き文字では点ひとつです。これも注意が必要です。

え・えー・え

（『改定常用漢字表より』）

左の図は、内外から成る文字の組み立て方の代表的なパターンを示したものです。囲む位置によって、「繞」「垂」「構」の三つに分けられます。

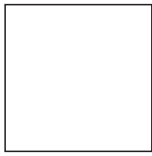
内外 [構・垂・繞] のパターン



*『明解書写教育』（全国大学書写書道教育学会編、蒼原書房）より

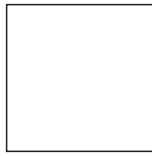


屋



しかばね

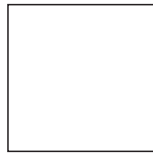
病



③

)

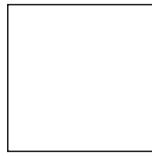
店



②

)

原



①

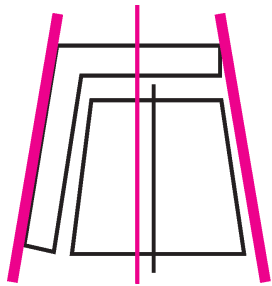
)

赤い部分の名まえを () に書こう。
(こたえは12ページ)

「たれ」は、左がわと上がわをかこんでいます。「たれ」のなかまのかん字をマス目の中に書いてみましょう。

⑤

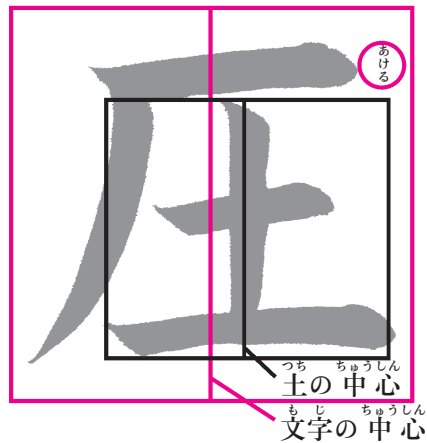
「たれ」は左がわと
上がわをかこんでいるよ



文字の左がわに左はらいがあるかん字にちゅうもくしよつ。



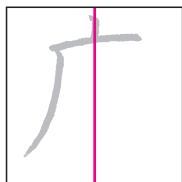
文字の中心と内がわの部分の中心がずれるんだね。



⑥

がんだれ大かいぼう

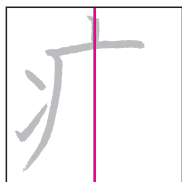
席



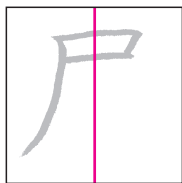
席



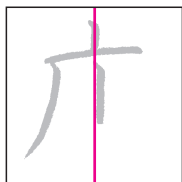
病



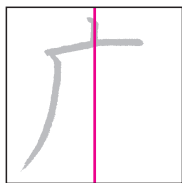
屋



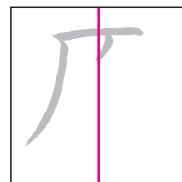
店



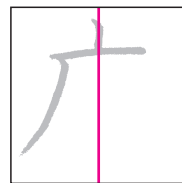
度



原



広



内がわの部分の中心が右にずれましたか？



・じつじつれんしゅつ
文字の中心と内がわの部分の中心がずれることに気をつけてつづきを書いてみよう。



ここからはじめるよ。①→②→③の順に書こう。



△の書き方はどこに 問題がありますか。	て ほん 手 本	①じぶんで書く	②なぞる	③じぶんで書く
------------------------	-------------	---------	------	---------

近 [○] 近 [△]	近		近	
起 [○] 起 [△]	起		起	
題 [○] 題 [△]	題		題	
建 [○] 建 [△]	建		建	
処 [○] 処 [△]	処		処	
進 [○] 進 [△]	進		進	
原 [○] 原 [△]	原		原	
店 [○] 店 [△]	店		店	
屋 [○] 屋 [△]	屋		屋	

10ページのこたえ ①週 ②運 ③建 ④題 ⑤起 ⑥処

11ページのこたえ ①がんだれ ②まだれ ③やまいだれ